

## 平成 29 年度 第 1 回 SSH 運営指導委員会議事録

1. 日 時 平成 29 年 5 月 24 日(水)14:30～16:00
2. 場 所 北杜市立甲陵高等学校 立志の間
3. 出席者 運営指導委員 6 名、北杜市教育委員会 3 名、本校関係職員
4. 次 第

SSH 運営指導委員委嘱状交付式〔司会・高校事務長〕

- (1)開会
- (2)委嘱状交付
- (3)北杜市教育委員会 教育長あいさつ
- (4)運営指導委員 自己紹介
- (5)閉会

第一回運営指導委員会〔司会・高校教務主任〕

- (1)開会
- (2)北杜市立甲陵高等学校 学校長あいさつ
- (3)学校関係職員紹介
- (4)北杜市立甲陵中・高等学校の概況説明 :中・高各担当者より説明
- (5)SSH 運営指導委員会設置要綱の説明 :高校事務長より説明
- (6)委員長及び副委員長の選任
- (7)議事

- 1.甲陵 SSH 第二期の概要について

SSH 担当より PPT を使って説明

- 2.質疑・応答、指導・助言

議長:第二期についてそれぞれ意見を。

委員:主体的な探究の力を付けていくために OPPA シートは有効。ルーブリックも併用し、資質能力の向上に繋げていくと良い。

委員:地域との連携について、生徒が自分たちに関係にある身近な問題について調べることは意味のあることだと思う。

委員:全体的に第一期と比べてボリュームが増えている。しかし、人員は限られているのだから、量よりも質の向上が求められる。

議長:甲陵中の教員は異動があるため、甲陵中が指導技術のスキルアップを行う研修所的な役割を担えるのではないかと。そうすることで異動先の中学校にもメリットがあると思う。他の中学校との間でも価値観の共有ができるとうい。

委員:大学としてどんなプログラムが提供しうるのか考えていきたい。こちらからどのような提案ができるのかも検討する。

議長:高大連携は大学にとってもメリットがある。さまざまなアレンジをしてほしい。高校側は評価点を伝え、高校が何のためにプログラムを利用したいのか、その思いを伝えて連携することが必要だ。

委員:内容をそぎ、得意なものに集中するという視点も必要では。そのために卒業生や地域の方に協力いただくことも良いと思う。

議長:北杜市は移住者の多い街である。そうした人材に協力いただくことは地域振興にもつながる。

- (8)閉会